

労山全国連盟 メールニュース

発行：日本勤労者山岳連盟 メディア局

2014年7月3日 第7号

▲△1：「ハイキング セカンド・ステップ第3版」、 DVD付き「山筋ゴ-ゴ-体操」 発行される

労山全国連盟ハイキング委員会が編集するハイキングリーダー養成テキスト「ハイキング セカンド・ステップ」の改訂版（第3版）が7月1日付で発行されました。今回は、新しい内容を盛り込んだほか、昨年発行された「ハイキングA・B・C第4版」との内容の整合性をはかり、また出版社を通じて出版して紙面が各段に見やすくなりました。ぜひ、ご利用ください。



また、全国各地で普及活動がすすめられている「山筋ゴ-ゴ-体操」ですが、石田良恵先生の手によって内容が補強され、目で見てわかるDVDが付けられた

「DVD付き 山筋ゴ-ゴ-体操」も出版されました。税込み1620円で市販されている本ですが、労山会員の皆様には特価1200円（送料別）でお分けします。

希望者は全国連盟事務局までFAXかメールでご注文ください。

FAX 03-3235-4324 メール jwaf@jwaf.jp



▲△2：「安全登山ハンドブック」配布します

8月11日は、何の日か知っていますか。2016年から、「山の日」となり、国民の祝日が一日増えることになりました。山の日は、山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日です。山の日に向けて日本山岳ガイド協会が作成した「安全登山ハンドブック」が2万部届きましたので、希望する地方連盟・会・クラブに配布します。夏山シーズン到来！と出かけるのも楽しみですが、一方で危険なフィールドに入っていくのも確かなことですので、本ハンドブックを役にたて遭難事故がないように心がけましょう。



▲△3：各地方ブロック、各地方連盟が安全対策基金を活用し講習会など実施

安全対策基金は新特別基金の一部を財源として会員の安全対策活動に充てられる制度で1988年にスタートしました。具体的には地方連盟で開催される登山学校・ハイキング学校、雪崩講習会などの各種講習会、救助隊活動、さらには全国連盟からの講師派遣費用、岩場グレンデ環境整備などを補助するものとして、年間で基金の15%かつ1500万円以内を上限として補助しています。今般6月度の理事会では、地方連盟から申請のあった次の交付申請について承認しました（随時受付中）。

- | | | |
|---|---------------------------------|------|
| ① | 四国ブロック協議会遭難対策講習会（2014.10.26） | 15万円 |
| ② | 四国ブロック協議会 救助隊交流集会（2014.10.26） | 10万円 |
| ③ | 四国ブロック協議会 講師派遣制度会（2014.10.26） | 2万円 |
| ④ | 大分県連 安全登山訓練（2014.3月 4月） | 5万円 |
| ⑤ | 香川県連 2014年登山学校 | 4万円 |
| ⑥ | 香川県連 2014救助隊講習会（救急救命、搬出訓練、模擬捜索） | 8万円 |
| ⑦ | 福井県連 2014ハイキング入門講座 | 8万円 |
| ⑧ | 福島県連 登山学校・沢登り教室 | 10万円 |
| ⑨ | 石川県連 第6回ステップアップ講習会（国立登山研修所） | 12万円 |

この制度によって各地方連盟で会員が参加しやすくなり、結果的に事故が減るならば、制度の本来の趣旨が生きてくると期待しています。

▲△4：あいち平和行進ニュース「あるく」より---トピック紹介

2014年平和大行進は5月6日東京・夢の島を出発し、8月4日に目的地広島に到着する予定になっています。このたび、「東海地区あいち平和行進共同連絡会」から、県内を歩く模様を報道した「あいち平和行進ニュース『あるく』」が届けられました（詳しくは行進ニュースを参照）。それによると、2014年あいち平和行進は5月31日から6月11日の12日間にわたって行われ、「感動的な出来事が多くあった」行進だったと紹介されています。

12日間の参加者は全部で6,763人、このうち行進の先頭に立ち、愛知県内を通し行進した者が24名います。沿道からも47万7,563円のカンパが寄せられました（行進参加者からのカンパ116,037円を含む）。また、核兵器廃絶の署名は3,532筆集まり、みなさんから預かった折り鶴は8万羽にのぼっています。

この内容はホームページでもごらんいただけるので、こちらをどうぞ。

<http://peacemarch.peace-aichi.net/>

▲△5：「伊豆大島を応援して」---伊豆諸島定期航路の東海汽船が労山会員は1割引で

伊豆七島は、伊豆大島を初めとして、島々の山を登ったり、海岸をウォーキングしたりと、なかなか楽しいコースを提供してくれます。その伊豆諸島に定期航路を運行している「東海汽船」から、水害で大きな被害をだした伊豆大島を応援するためにも、ぜひ大島に来てほしいとの案内がありました。また、労山の優待施設として「全航路・全等級を1割引する」契約を労山と取りかわしました。

利用にあたっては、①事前に予約センターに「労山会員である」ことを告げ予約する。②乗船券等の購入にあたっては、「日本勤労者山岳連盟会員証」（全員分）を提示し、営業所、代理店などで割引料金で購入する、が必要です。

適用対象 ①東海汽船 全航路・全等級の1割引 ②東京湾納涼船(夏季)料金の1割引 ③東海汽船募集型企画旅行・旅行代金の1割引となっています。

申込み先は 東海汽船・本社旅客部予約センター 03-5472-9999

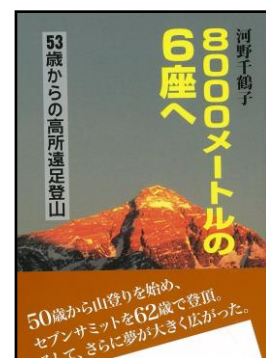
▲△6：元全国連盟理事 河野千鶴子さんの葬儀 行われる

昨年5月22日、ヒマラヤ・ダウラギリ峰8167mの頂上アタック中に遭難死された河野千鶴子さん（労山全国連盟理事、「練馬山の会」会長、享年66歳）の葬儀が、6月22日（日曜日）午前11時から、東京都中野区の宝仙寺で行われました。

河野さんは50歳になってから「練馬山の会」で登山を始め、ごく普通の主婦クライマーながら62歳で世界7大陸の最高峰を登頂、さらに夢をひろげてヒマラヤ8000m峰5座にも登頂に成功しました。しかし、不幸にして6座目への挑戦途上、遭難されたものです。遺体はダウラギリ峰に残されているため、ご遺族の依頼で今年の5月、ネパール人クライマー5名が頂上付近まで捜索しましたが、発見できませんでした。このためご遺族はダウラギリのベースまで訪問した後、区切りをつけるため、告別式を執り行ったものです。

式は、河野さんが会長をつとめていた東京・「練馬山の会」とご遺族の合同葬として行われ、労山全国連盟副理事長・藤元理律子さんと練馬山の会・宿谷猛さんが、在りし日の河野さんの姿をしのいで弔辞を読み上げました。また、「練馬山の会」の仲間たちも山の歌を合唱して河野さんを送りました。参列者は200名を超え、焼香の列が長く続きました。

河野千鶴子さんの遺稿が、仲間たちやご遺族の手によって1冊の本＝「8000メートルの6座へ 53歳からの高所遠足登山」にまとめられ、桐書房から出版されました。河野さんの足跡や山に対する



思いを知ることのできるこの1冊、市販価格税込み1620円のところ、労山会員には特別価格1300円（送料80円は別途）でお分けします。希望者は全国連盟事務局までFAXかメールでご注文ください。

FAX 03-3235-4324 メール jwaf@jwaf.jp